



**宮私幼PTAだより**

第107号

発行 者連合会  
宮私幼 P T A 連合会  
長 渡 辺 幸  
編 集 委 員 会  
報 告 委 員 会  
事務局  
仙台市青葉区国分町三丁目6-12 F  
佐 正 第 二 ビ ル 6 F  
電 話 (022)263-7040 番

# 子どもたちの将来について

## 真剣に考えること

宮城県私立幼稚園PTA連合会

会 長 渡 辺 勝 幸



日頃より、宮城県私立幼稚園PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

幼稚園は、子どもたちが初めて「家庭の外の社会」と出会い、友だちや先生との関わりの中で、自分の世界を広げていく大切な場です。近年の幼児教育研究では、「何を教えたか」以上に、「どのような関わりの中で育ったか」という、日々の経験の質、いわゆるプロセスの質が、子どもの発達に大きく影響することが改めて注目されています。

とりわけ、いわゆる学力の前提となる力として、自己調整力や粘り強さ、他者と協働する力などの「社会情動的スキル（非認知的能力）」の重要性が強調されています。これらは、幼児期にこそ遊びや生活の中で育まれる力であり、正解のある課題を早くこなすことだけが成長ではない、という大切な視点を私たちに示してくれます。国の「こどもまんなか」に関する施

どもの「やってみたい」という気持ちを支え、その言葉に耳を傾け、必要なときにそっと手を差し伸べることではないでしょうか。

また近年は、ICTやデジタルメディアとの付き合い方も大きなテーマとなっています。幼児教育におけるICT活用の研究は進んでいます。同時に、年齢に応じた時間や場面、大人の関わり方といった「使い方の質」が強く問われています。家庭と園が目線をそろえ、ルールを「押し付け」ではなく「納得」として共有していくことが重要だと考えます。

そして、子どもの育ちを支える土台には、先生方の高い専門性と、安心して働ける環境があります。国際的な調査においても、幼児教育の質を支える要素として、人材育成や働き方、リーダーシップの重要性が示されています。私たち保護者は、日々子どもたちに向き合ってください。先生方への感謝を言葉にするともに、現場の声に耳を傾け、より良い環境づくりに連帯していきたいと思えます。

PTAは、バレーボール行事など大切な行事運営を担う役割もありませんが、その原点は、家庭と園、そして地域をつなぐ「協働のプラットフォーム」であるはず。子供たちの小さな一歩を、焦らず、比喩、誇りをもって見守る。その文化を、この宮城県から広げていくため、皆さまと力を合わせ、あたたかな幼児教育の輪を育んでまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

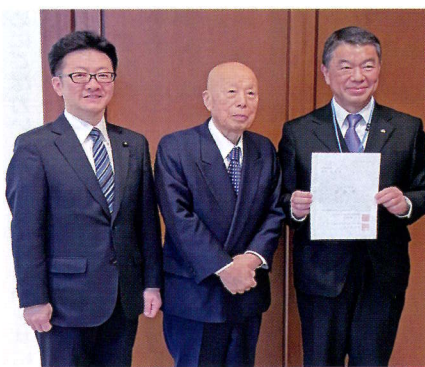
# 宮城県知事及び県議会議長に対する陳情

宮私幼PTA連合会副会長 渡辺重益

令和8年1月23日、宮城県私立幼稚園連合会および宮城県私立幼稚園PTA連合会の連名により、宮城県知事ならびに宮城県議会議長に対し、要望書を提出いたしました。本要望書は、県内すべての子どもたちの教育環境の充実と、良質な幼児教育を受けることができる社会の実現を目指し、私立幼稚園・認定こども園の現場の声や必要とされる支援施策について、県および国に要望することを目的としたものです。

要望内容は、①私立学校運営に係る補助金の継続支援、②物価高騰対策に関する支援の継続、③私立幼稚園・認定こども園における人材確保、④教育・保育人材の育成および処遇改善、⑤子どもの生活習慣やメディア環境の影響に対する支援体制の構築の五点です。

当日は、PTA役員のお子さまである園児を含む関係者が同席し、



人材不足や学習環境の地域間格差など、教育現場の課題について率直な意見交換を行いました。また、家庭・学校・地域が連携して教育を支える重要性についても確認しました。県からは、現場の声を真摯に受け止め、今後の施策に反映していくとの前向きな回答が示されました。今回の要望会を通じ、教育の重要性と、行政と現場が対話を重ねることの大切さを改めて実感しました。



第48回親善バレーボール大会報告

ボールを繋ぎ、人とも繋がる

宮私幼PTA体育部長 大場和晃  
八幡花園幼稚園P



第48回親善バレーボール大会が令和7年10月21日にセキスイハイム・スーパリアリーナで開催されました。毎年このですが、今年も事前に代表者説明会と組み合わせ抽選会を行い、ルールについての質問や確認を行っています。大会運営をスムーズにするためにも事前にルールを確認してもらい、チーム内で共有していただくことは大事なことで感じます。

迎えた大会当日、会場の外には開場を待つ各チームの方がズラリ。この景色を見ると、選手ではない私も緊張してきます。その緊張のせいか開会式で思わぬ失敗をしてしまいました。私が司会を務めたのですが、選手宣誓を飛ばして開会式を終了してしまいました。です。すぐに再び集まっていただき、仕切り直して選手宣誓を行いました。フワツとしてしまっていた空気が、高崎幼稚園バレーボール部の阿部奈津子



さんたち3名による凛々しい選手宣誓のおかげで、ピシッとした大会の雰囲気に戻りました。本当にありがとうございました。

今年は36チームの参加があり、9チームを4コートにわけて開催しました。概要を説明しますと、各コートをさらに2ブロックに分け、ブロック内で予選を2試合行います。各ブロックで勝率の高いチーム同士での決勝戦となり、コート毎に優勝、準優勝を決める形式となっています。勝率が同数の場合は得失点差で決まるため、1点がとても大切です。その1点を勝ち取るために今年もコート毎に白熱した戦いが繰り広げられました。決勝点となる1点、強豪からもぎ取った1点、粘りに粘って取った1点など、得点を取った後の喜ぶ姿や、得点を取られても互いに励まし合う皆さまの姿はとても輝いて見えました。

ちなみに私の幼稚園のバレーボール部も毎年出場しております。現在のチームのバレーボール経験者は1名のみと聞いていますが、練習を重ね、年を重ねるごとに見違える伸び代たっぷりチームです。妻もそのチームに参加しておりますが、バレーボールを通じて新たな人との繋がりもできているようで、いつも楽しそうに部活動を続けています。おススメです。

私自身も大会に携わるようになってから新たな繋がりがたくさん出来まし

<入賞チーム>

コート	優勝	準優勝
A	中田く	多賀城高崎 泉の杜
B	大沢東北学院	利府聖光こども園
C	大沢東北学院	すがわら
D	利府聖光こども園	すがわら

た。毎年お世話になっている宮城県レディーズ家庭バレーボール連盟の佐藤園子理事長はじめとした連盟の方々や、宮私幼PTA連合会の役員の方々です。その方々には前日のコート作りから当日の審判、運営など本大会のた

令和7年度宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会

宮私幼PTA研修部長 伊深まなみ  
いちようの実幼稚園P



令和7年度宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会、第52回PTA研修会が、11月25日に開催されました。第一部の振興大会では、「次代を担う子どものために」をスローガンのもとで大会宣言で4つの宣言が読み上げられました。

第二部の研修大会では、宮城学院女子大学名誉教授・足立智昭先生より「子どものこころの健康と発達について」と題した講演をしていただき、自尊感情と主体性の育ちについて学びを深めました。

今の子どもたちが成人を迎える20〜30年後は、AI進化による職業形態の変化や少子高齢化の急速な進行による地域コミュニティの希薄化など、様々な課題に直面することが考えられます。

その時代を生きていくために今、子どもたちに必要なのは「正解をすぐに出す力」ではなく、「自分で感じ、選び、動く力」であり、その根っこにあるのが、自尊感情と主体性です。自尊感情とは「自分は大切にされている」「私には価値がある」と思

めにご尽力いただきながら活動を共にさせていただいております。いつもありがとうございます。第49回大会でも皆さまの輝く姿を楽しみにし、多くのチームのご参加をお待ちしております。



足立智昭先生

える心の力であり、これは乳幼児期の大人との安心できる関係で育ちます。子どもの「見て！」「やってみたい！」を優しく見守るまなざしや、失敗しても結果ではなくその過程の姿を認めることなど大切な人から愛されている実感を得ることで自尊感情は育ち、そこから「もう一度やってみよう！」と行動(挑戦)する勇気が生まれます。これが主体性です。「子どもの心の健康は「安心」と「挑戦」のくり返しの中で育ちます。乳幼児期の小さな挑戦を温かく見守り、失敗を受け止めてくれる大人の存在こそ、子どもにとっての『心の根っこ』であり、その根が深く育つことが、これからの未来を生きる力の源になります」と、子どもたちの未来を見据えた教育の在り方を考えさせられる足立先生の講演でした。

令和8年度行事予定

宮私幼PTA総会

期日 令和8年6月8日(月)  
会場 トークネットホール仙台 (仙台市民会館 地階小ホール)

宮私幼PTA親善バレーボール大会

期日 令和8年10月20日(火)  
会場 セキスイハイムスーパリアリーナ (利府町・グランディ21)

宮私幼・認定こども園教育振興大会並びにPTA研修大会

期日 令和8年11月19日(木)  
会場 東京エレクトロンホール宮城 (宮城県民会館) 大ホール

令和7年度編集委員

- 副会長 横澤 行夫 (お人形社第二T)
- 広報部長 松田 彩絵 (第二向陽台P)
- 広報副部長 毛利奈緒美 (小さき花P)
- 広報部員 佐々木拓真 (三ルフルT)
- 広報部員 坂上 靖恵 (愛 耕T)
- 広報部員 片岡 大助 (さくらT)
- 広報部員 中村 晶子 (小 鳩T)
- 広報部員 石堂 三美 (法山寺T)
- 広報部員 佐竹 恭子 (小さき花T)
- 広報部員 越前 智也 (第一向陽台T)
- 広報部員 佐々木 愛 (いずみ松陵P)
- 広報部員 三塚あきみ (いずみ松陵T)
- 広報部員 斎藤絵未理 (愛 耕P)
- 広報部員 太田 美雪 (さくらP)
- 広報部員 及川 良宣 (小 鳩P)
- 広報部員 佐藤 京子 (法山寺P)